

平成 26 年度 第 2 回 金沢市公立大学法人評価委員会

会議要旨

- 1 日 時 平成 26 年 8 月 1 日 (金) 14 : 00 ~ 15 : 30
- 2 場 所 金沢市役所本庁舎 7 階 第 3 委員会室
- 3 出席者 (評価委員会)
檜見由美子委員長、福光松太郎委員、早田幸政委員、林幹二委員
雪山行二委員
(法人)
池上理事、吉本事務局長、池田事務局次長
(評価委員会事務局)
北村総務局長、林総務課長、紙谷総務課長補佐、桜木主査
- 4 議 事
 - (1) 業務実績評価について
 - (2) 財務諸表及び利益処分の承認について
- 5 会議要旨
 - (1) 開会
 - (2) 総務局長挨拶
 - (3) 業務実績評価について・・・資料番号 1 及び 2 にしたがって審議
 - (4) 財務諸表及び利益処分の承認について・・・資料番号 3 ~ 5 にしたがって審議
 - (5) 閉会 (総務局長挨拶)

< 審議要旨 >

(1) 業務実績評価について

○資料番号1 小項目評価について

評価委員会事務局より資料番号1について、第1回委員会決定事項及び変更点を事務局から説明。

(委員) 項目番号45、「デザイン科では、各専攻の就職担当教員が企業担当者から、求められている人材像やスキルについてヒアリングした結果を専攻会議やデザイン科会議等で共有した。今年度は1年次の基礎演習を3専攻同時に前期に行うことにより、カリキュラムに反映させた。早い段階で基礎能力を身につけ、就職へ向けたノウハウを修得させることで効率的でレベルの高い教育を実現する環境を整えた。」とある。前段の部分と「今年度は…」以降の後段部分とは違う内容である。従って「その結果を踏まえて」という文言を「今年度は…」の部分の前に加え、「その結果を踏まえて今年度は…」とし、文意をはっきりさせてはどうか。

(大学) 了承した。

(委員) あとはご意見がないということで了承してよろしいか。

—了承—

○業務実績評価（項目別評価の審議）

資料番号2について

事務局より資料番号2 業務実績評価書の評価方法について説明

—原案のとおり各項目「A」で了承—

○業務実績評価（全体評価の審議）

—原案のまま了承—

字句の修正については委員長一任

(2) 財務諸表及び利益処分の承認について

資料番号3について

大学事務局より説明

資料番号4、5について

評価委員事務局より説明

(委員) 教員の人件費は削減されるということになって、その分が余りとなった場合、経営努力という理解でよろしいか。

(大学) 去年、国家公務員に準じて美大教職員の給与の減額特例措置があった。市の当初予算自体が削られたため、その分の剰余金が出ないような補正予算を審議会で議決し、美大の理事会でも給与の削減分はすでに減額されてしまっているのので、剰余金はない。ここに出た人件費の剰余金は、休職教員分及び非常勤予算を節減したものである。国家公務員の減額分の剰余金はここには含まれていないという理屈になる。

(委員) 剰余金は教員欠員分等であるから今、言われたのは例えば、採用予定の教職員が採れなかったのので、その給料の節約分が剰余金として計上されたのではなく、今回は休職分が計上されたとして理解してよろしいか。

(大学) 休職の部分もあるし、欠員の部分もある。

あと例えば退職される先生が65歳で退職される。その後の補充で若い先生との給与差額がある。

(委員) 教授の募集に対し、結果的に准教授で採用となると給与ベースが違ってくる。

以上、財務諸表及び利益処分の承認だが、ご承認いただいたということにしたいと思う。

—いずれも「意見なし」とする—